

子どもの「困った」に役立つ道具

発達障害等のある子どもは、そうでない子どもに比べ、ちょっとしたことがつまずきとなりがちです。けれども、決してその子の努力が足りないわけではありません。その子に合った道具を使うことで、問題が解決する場合があります。

子どもたち一人ひとりが、できる喜びを感じ、自信を持てるように、日々の生活や学習に役立つ道具等の活用について考えてみましょう。

気持ちをうまく伝えられない子に

「感情表現ツール」



★絵カードやシート、シール等にいろいろな表情が描かれています。

自分の気持ちがどれに当てはまるかを考えたり、感情を表す言葉を学んだりするなど、いろいろな場面で活用できます。

音に過敏な子に

「ノイズキャンセリングヘッドフォン」



★周囲の音に過敏で、混乱してしまう子どもがいます。騒音をカットし、落ち着いて集中しやすいように手助けします。

手先の不器用な子に



「滑りにくい定規」

★紙の上で定規が滑らないので、ずれを気にせず、線がまっすぐ引けます。

漢字の学習が苦手な子に



「漢字学習支援ゲーム」

★へんとつくりが書かれたカードを組み合わせて漢字を作るカードゲームです。

【参考】 国立特別支援教育総合研究所
発達障害教育推進センター

検索 教材・教具データベース

*今回掲載したものを含め、多くの教材・教具が紹介されており、保護者向けの子育てに関する情報も発信されています。

